

北区議会自由民主党議員団

北区自民だより



北区議会報告 平成24年6月(号外)

永沼かつゆき 区議会報告

昨年4月の北区議会議員選挙において、多くの皆様方の力強いご支援で初当選させていただきました。

議員生活にも少しずつ慣れ、いろいろな仕組みを勉強しているところです。

常任委員会は、健康福祉委員会、特別委員

会は、地域開発特別委員会と予算特別委員会健康づくり推進委員会、消防団運営委員会に所属となりました。

今年度は、区民生活委員会、防災対策特別委員会になり、一層精進し、区民の皆様のお役に立てるよう努力していきたいと思ひます。



高齢者の口腔対策と今後の取り組み

本会議質問

平成23年度第3回定例会にて一般質問をさせていただきました。初めての議場壇上での質問で大変緊張しました。その中の1部をご紹介します。

【質問要旨】 高齢者口腔対策の今後の取り組みについて伺います。

歯周病菌が肺炎はもとより、心内膜炎、早期出産、糖尿病などの疾患に大きくかかわっていることが知られています。誤嚥性肺炎の予防として、口腔ケアが有効な結果を出していることは多くの研究により立証されています。1人の高齢者が肺炎で2週間入院した医療費は150万円ほどかかりますが、口腔ケアをすることで予防できるとすれば医療費の軽減につながります。

現在実施している歯周病検診を寝たきり在宅療養されている方、施設にいる方々に検診をして口腔ケアを行い誤嚥性肺炎を予防することが重要であると思ひ歯周病検診を居宅や施設まで実施出来るようにしてはと考えてますが、区の意見をお聞かせください。

また、在宅や施設での看護、介護の場において医師をはじめ歯科医師、看護師、衛生士、言語療養士、ケアマネージャー、ヘルパーなどのチームで取り組む必要があると思ひますが、今後北区の医療としてどのような連携をとり、どのような方向性で命を救っていくかという北区独自の指針が必要と考えます。そのためにも、口腔ケアを取

が問題

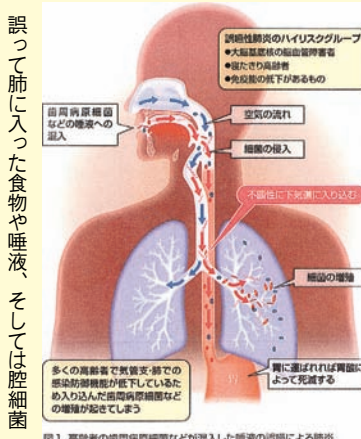


図1. 高齢者の歯周病菌などが侵入した唾液の誤嚥による肺炎。

り入れた在宅医療を推進するための準備会を区が要請し、立ち上げて方向性を話し合うべきだと考えますが、今後の取り組みについてお聞かせください。

【答弁要旨】 今後とも高齢者の口腔対策について十分検討していきます。なお協議会の機能は、在宅療養者を取りまく様々な関係者の連絡調整と情報共有に寄与し、医療連携が強化されるとともに、高齢者が在宅で安心して療養できる体制の構築に向けて極めて有効であると認識しています。

今後、医師会、歯科医師会をはじめ、関係機関のご意見を伺いながら協議会設置に向け検討してまいります。

以上の答弁をいただき、24年度に医療介護連携推進会議を開催することとなりました。

永沼かつゆき

東京都北区出身、43歳、第二岩淵小学校(現在なでしこ小学校)、赤羽中学校(現在赤羽岩淵中学校)卒、明海大学歯学博士、明海大学非常勤講師、東京都北歯科医師会公衆衛生委員、東京都歯科医師連盟参与、同北支部顧問、倫理法人会幹事、ながめ歯科医院院長、2012年北区議会区民生活委員会委員、防災対策特別委員会委員、健康づくり推進協議会委員。



荒川花火大会

予算特別委員会で質疑を行いました昨年、荒川河川敷の岩淵水門付近で秋のフェスティバル2011 鉄人シェフNo.1 決定戦と夢花火というイベントが開催されました。夢花火は20分の短い間でしたが、非常に見ごたえがあり北区をアピールする絶好のチャンス、地域活性化にも役立つものでした。区民が立ち上げる50年ぶりに荒川に花火が上がったのですから、継続していけるように北区としても参加すべきではないか、と要望したところ、理事者から「そのような声が皆さんの中から等しく出てくれば、ぜひとも応援していきたい」との答弁がありました。

【連絡先】 ご意見・ご要望がございましたら、ご遠慮なくお寄せください。

連絡先 TEL 3908-7146

FAX 3905-7650

メールアドレス naganuma@kita-jimin.jp

ホームページアドレス http://www.kita-jimin.jp/naganuma/

木造密集地域不燃化10年でプロジェクトで区長に要望

右から2人目永沼区議



昨年、東京都では木造密集地域の改善を一段と加速するため、木造密集地域不燃化10年プロジェクトに取り組むことになりました。不燃化特区制度の創設や延焼遮断帯を形成する主要な都市計画道路の整備推進、地域における防災街づくりの気運の醸成などの取り組みを示しております。このプロジェクトは平成24年6月に都内で実行実施として3地区が選定され、そのルールづくりをした後、本格実施をはじめます。北区では十条、志茂、西ヶ原の3地区が区の整備地区になっています。この10年プロジェクトに選定された木造地区が改善され、安心して暮らせるまちにしていきたいと思ひます。

そこで、志茂連合会の齊藤邦彦会長ら役員と永

沼かつゆきが5月21日、花川区長を訪ね志茂地区が10年プロジェクトに選定されるよう都に働きかけてほしい、旨の要望書を提出しました。

防災マップ(赤羽志茂地区)

